

くらサポ^{30th}ニュース^{NO.} 101

医療生協さいたま

発行：地域福祉相談支援センター



2023/3/1



最近の事例紹介

見守り・話し相手で利用している利用者さんから自宅近くに老人ホームが出来たので、一緒に見学に行つて欲しいという依頼がありました。



利用者さんは独居で、お近くにご家族がいないため今回、同行することになりました。

施設はオープン前ということで、入居者の方はまだいなかったため、ゆっくりと施設の方のお話を聞き、お部屋の見学をしました。今後、体験入居をされるそうです。

(川越市 80代)

依頼者の男性は要支援の方で、週1回ヘルパーさんに掃除やゴミ捨て、買物代行をお願いしているそうです。時間内でヘルパーさんにすべてをやってもらうのは難しく、くらサポに買物代行の依頼がありサポートしました。

(行田市 70代)



✿ 暮らしサポーターはちょっとしたお困りごとをお手伝いしています。

県西地域くらサポ交流会開催

日時：2023年 4月3日(月) 13:30～

場所：ウエスタ川越

※対象地域のサポーターにはお知らせを郵送します。

羽生市で開始準備のうごき

「くらサポを知る会」の開催を企画しています。

日時：2023年 3月7日(火) 11:00～

場所：羽生市須影公民館

♪ コーディネーター リレートーク(第2回)

♪ さいたま市 島津利枝さん ♪

先日、介護保険の学習会に参加しました。介護保険料が当初の倍になり、国としては要支援を保険から外そうとする思惑があるとのこと。今回は先延ばしになりましたが、いつかはそんな日が来ると思います。介護保険を利用したくても利用出来ない、お金がない...など様々です。

このような生きづらい世の中で暮らしやすい生活を手助けするために、暮らしサポートの活動をしていきたいと思います。

暮らしサポーターは、感染防止を徹底したうえで、活動します。事前の体調確認、マスク着用、手洗い、消毒など感染予防の基本を励行します。



医療生協さいたま

地域福祉相談支援センター/暮らしサポーター事務局

直通電話 048-296-8692